

Mar.1.2024 Copyright 2024 HIROSE ELECTRIC CO.,LTD. All Rights Reserved.
本製品を車載用途などの高い信頼性が求められる機器にご使用の場合は、弊社までお問合せ下さい。

適用規格 		TÜV認定品 (R50270424), UL認定品 (E52653)					
定 格	使用温度範囲 ⁽²⁾	-40℃ ~ +105℃		保存温度範囲	-10℃ ~ +60℃		
	電 圧 	AC, DC 600 V (UL, TÜV) AC, DC 1000 V		—	—		
	電 流 ⁽¹⁾ 	20A (UL, TÜV) 24A (周囲温度25℃時)		適合ケーブル	φ10.1±0.6		
性 能							
	項 目	試 験 方 法		規 格		QT AT	
構造	外観, 構造及び仕上げ	目視, 寸法測定器にて測定する。		図面と合致していること。		○ ○	
	表示	目視にて確認する。				○ ○	
電 氣 的 性 能	接触抵抗	単位コネクタに DC 1A で測定する。		2 mΩ 以下		○ ○	
	絶縁抵抗	DC 500 Vで測定する。		5000 MΩ以上		○ ○	
	耐電圧	AC 4260Vの電圧を 1 分間印加する。		せん絡・絶縁破壊がないこと。		○ ○	
	インパルス耐電圧	嵌合状態にて端子番号1, 2-3間に15 kVの標準波形 (電圧波形1.2/50 μs、極性 正・負 印加回数各3回) を印加する。		せん絡・絶縁破壊がないこと。		○ —	
機 械 的 性 能	コネクタの挿抜力 	φ3.58±0.003 の鋼製ピンで測定する。		挿抜力 0.8 N以上		○ —	
	コネクタの挿抜力	適合コネクタで測定する。(ロック機構を除く)		挿抜力 100N以下		○ —	
	端子固定力	圧着結線した適合コンタクトを組込後、電線に引っ張り加重を加える。		50N以下で端子の移動が無いこと。		○ —	
	繰り返し動作	200 回の抜き差しを行う。		単位コネクタの接触抵抗: 4mΩ 以下		○ —	
	耐振性	周波数 10~500~10Hz/サイクル, 片振幅0.75mm, 加速度98m/s ² , 11分/サイクルで3軸方向各3時間試験する。		①10μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。		○ —	
	耐衝撃性	加速度490m/s ² , 持続時間11ms, 正弦半波 3方向各3回試験する。		①10 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。		○ —	
環 境 的 性 能	温度サイクル	温度 -55℃ → 常温 → +125℃ → 常温 時間30 → 2~3 → 30 → 2~3 分 を5サイクル試験する。		①絶縁抵抗: 5000MΩ以上 ②破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。		○ —	
	定常状態の耐湿性	温度40 ℃, 湿度90~95 %中に96時間放置する。		①絶縁抵抗: 50MΩ以上 (高湿時) ②絶縁抵抗: 500MΩ以上 (乾燥時) ③破損, ひび, 部品のゆるみがないこと		○ —	
	塩水噴霧	適合コネクタをかん合した状態で 濃度 5 %の塩水, 1000 時間放置する。		機能を損なうようなはなはだしい腐食がないこと。		○ —	
	耐水圧性	適合コネクタをかん合した状態で 水深2mlに 14日間放置する。		コネクタ内部への浸水がないこと。		○ —	
	耐気圧性	適合コネクタをかん合した状態で、コネクタ内部に17-圧17.6kPaを30秒間加える。		コネクタ内部より気泡の発生がないこと。		○ —	
	△の数	訂正記事		設計		検図	年月日
	4	DIS-C-00003790		HT. ZENBA		HY. KOBAYASHI	20200130
備考  注 (1) 上記規格値は適合コンタクトを組み込んだ状態での値を示す。 適合端子: HR41-SC-111 (2) 通電による温度上昇を含む。 試験規格の記載のない試験方法はIEC 60512 (対応規格 JIS C 5402) を適用している。				承認	SU. OBARA		20130218
				検 図	HY. KOBAYASHI		20130218
				担 当	TY. SUZUKI		20130216
				製 図	TY. SUZUKI		20130216
注 QT: 確認試験 AT: 製品検査 ○: 適用項目				図番		SLC4-118084-00	
	製 品 規 格 表			製品名		HR41-25WBPE-3SC	
	ヒロセ電機株式会社			製品コード		CL141-0024-2-00	
					 1/1		